

みずほCustomer Desk Report 2019/10/17号(As of 2019/10/16)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.74
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.81	1.1034	120.07	1.2756	0.6753
SYD-NY High	108.86	1.1085	120.47	1.2877	0.6765
SYD-NY Low	108.56	1.1023	119.74	1.2655	0.6724
NY 5:00 PM	108.77	1.1071	120.43	1.2825	0.6762
NY DOW	27,001.98	▲ 22.82	日本2年債	-0.2700	1.00bp
NASDAQ	8,124.18	▲ 24.52	日本10年債	-0.1600	1.00bp
S&P	2,989.69	▲ 5.99	米国2年債	1.5886	▲ 3.46bp
日経平均	22,472.92	265.71	米国5年債	1.5666	▲ 3.13bp
TOPIX	1,631.51	11.31	米国10年債	1.7439	▲ 2.63bp
シカゴ日経先物	22,540	0	独10年債	-0.3885	3.00bp
ロンドンFT	7,167.95	▲ 43.69	英10年債	0.7140	2.40bp
DAX	12,670.11	40.32	豪10年債	1.0390	3.95bp
ハンセン指数	26,664.28	160.35	USDJPY 1M Vol	5.90	▲ 0.32%
上海総合	2,978.71	▲ 12.33	USDJPY 3M Vol	6.10	▲ 0.14%
NY金	1,494.00	10.50	USDJPY 6M Vol	6.45	▲ 0.11%
WTI	53.36	0.55	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	174.98	0.23	EURJPY 3M Vol	6.63	▲ 0.15%
ドルインデックス	98.00	▲ 0.29	EURJPY 6M Vol	6.94	▲ 0.14%

東京	東京時間のドル円は108.81レベルでオープン。米国の香港人権法案をめぐる、法案を成立させた場合に中国外務省が報復すると示唆したことを受けて、米金利の低下とともにドル円は108.61まで下落。その後は小動きに留まり、結局108.74レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.74レベルでオープンし、特段材料に欠けるなか、狭いレンジでの推移に終始した。108.74レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2778レベルでオープン。午前中に、「英国が動かない限り離脱合意は不可能」との報道を受けて、1.2655まで下落。その後、EUのバルニ主席交渉官が「今日中に合意できることを期待している」と発言をすると、再び1.27台を回復。1.2741レベルでNYに渡った。(ロンドン・ブルイ 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、108.80近辺でスタートし、米下院で可決された「香港人権法案」を巡り、中国が報復を示唆したこと、米中通商合意への進展期待が一時後退し、108.61まで下落。その後、108.70付近での動きが続き、108.74レベルでNYオープン。朝方は米9月小売売上高の結果が予想を下回ったことからドル売りで反応し、一時108.56まで下落。しかし8月分の結果が上方修正された中、この水準で下げ渋る。その後、米金利の上昇やブレグジット合意の進展期待に上昇するドル円にサポートされ、一時108.85まで上昇。午後は米ベージュブックが公表され、米景気見通しが若干下方修正されたものの、市場の反応は限定的だった。終盤にかけては、108.70近辺で方向感の無い推移が続き、108.77レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、「ドイツの経済成長が打撃を受けた場合、メルケル政権は景気対策を検討」との報道にユーロ買いが強まったことから1.1060まで上昇。しかし、その後は、ブレグジットを巡る楽観ムードの一時後退や、ユーロ圏9月CPIが予想を下回ったことを背景に1.1024まで売り戻され、1.1027レベルでNYオープン。朝方は米小売売上高の低調な結果を背景にドル売りが先行し、1.1054まで上昇。その後、EUと英国がブレグジット合意に近づいていると示唆するヘッドラインが交錯する中、ポンドの上昇にユーロが連れ高となり、1.1085まで上昇。午後に「EUと英国のブレグジット合意、今夜はない」と伝わると、1.1065まで反落するが、依然と10月末までのブレグジット合意は可能との見方が強い中、売りは長続きしなかった。終盤にかけては1.1070近辺で小動きとなり、1.1071レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 光石・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

市場営業部 為替営業第二チーム

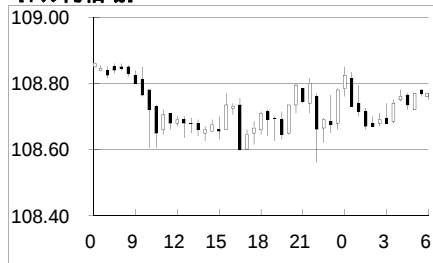
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月16日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.7%	0.2%/1.8%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/0.8%	0.2%/0.9%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- 0.5%	-
	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	9月 -0.3%	0.3%
	22:00	米 エバンズ・シカゴ連銀総裁 講演	「追加緩和を行う論拠はある」	
10月17日	02:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	「2回利下げ後の次の動きは分らず」	
	03:00	米 ベージュブック公表	-	-

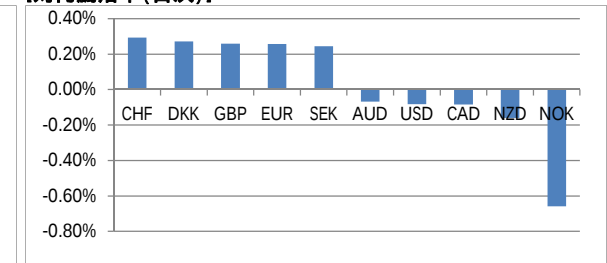
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月17日	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	9月 15k/5.3%	34.7k/5.3%
	17:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	9月 -0.1%/2.9%	-0.3%/2.2%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	9月 1,320k/1,350k	1,364k/1,419k
	21:30	米 フィアデルフィア連銀景況指数	10月 7.6	12.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	210k
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	9月 -0.2%	0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 楽観は禁物

一昨日、国際通貨基金(IMF)が公表した最新の世界経済見通しでは、2019年の世界経済成長率は3.0%と、前回7月時点の成長率予想3.2%から引き下げられる形となった。貿易摩擦で経済成長が損なわれることが今回の引き下げの主な要因として挙げられている一方、「リスクが優勢に見えるが、多くの国で最近実施された金融緩和に伴い、米中問題が緩和される場合や英EU離脱問題において「合意なき離脱」が回避されるような場合には需要が予想以上に押し上げられる可能性がある」との言及も同時になされており、米中問題とEU離脱問題が世界経済の先行きを占う上での重要なポイントであることが再確認された。この両問題について、足許の市場では楽観論が台頭してきており、為替市場ではリスク選好の動きから円売り地合いとなり、ドル円も108円台後半まで円安が進行している。米中問題については、以前、トランプ米大統領は、部分的な合意であるならば合意しなくてもよいと言っていたが、最近では来年の米大統領選挙を見据え目に見える成果を上げるべく部分合意を段階的に獲得しに行く姿勢に舵を切ったと見受けられるが、一方の中国サイドは第一段階の合意前に更なる交渉を米国に申し入れていることや米国からの農産物の購入に関しても報復関税を維持する限り500億ドルの購入は難しいとしており、部分合意でさえも一筋縄ではいかない様子を呈している。成果は欲しいが足許は見られにくい米国と関税の撤廃を狙っている中国とのせめぎ合いはさほど簡単には収まらないものと見ています。英EU離脱問題にしても米中問題にしても、これまで幾度も市場の期待が裏切られてきた経緯を鑑みると署名がなされるその時まで楽観は禁物であり、こうした楽観論が台頭してきた時ほど下値への警戒は怠らないようにしたい。(光石)

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	原田	玉井	森谷	ブル	ベア
Today	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	4	5
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	5	4